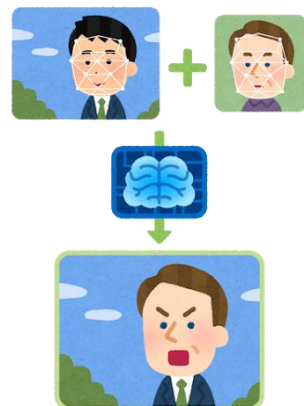


SNSや動画サイトの嘘の情報に 惑わされないために

SNSや動画サイトは、日々の情報収集やコミュニケーションに欠かせないツールとなっています。しかし、その便利さと同時に、事実に基づかない情報や虚偽の内容が広がるリスクもあります。

ネットに広がる嘘の情報とその危険性

近年、情報のエンターテインメント化が進み、感情をかき立てるような見出しや内容が目立つようになりました。このような情報は、事実よりも感情的な反応を引き出すことを目的として広まりやすくなっています。例えば、SNS上に偽の画像やAIで作られたフェイク動画が広がり、その情報の受け手が誤った認識をもってしまうケースが報告されています。このような情報は、私たちの判断や行動に影響を与え、時には社会全体の混乱を招く可能性があります。



AIで顔を入れ替えた動画を簡単に作ることができます。

嘘の情報に惑わされないための3つのポイント

① 情報源を確認する

情報がどこから来ているのか、その発信元や根拠としているものを確認しましょう。信頼できるメディアや公的機関など、実績のある情報源から発信された情報を優先して参照することが大切です。

② 感情に訴えかける内容に注意する

情報が感情的な反応を引き出そうとする場合、その内容に注意が必要です。例えば、事件に勝手なストーリーをつけて興味を引き、誤った情報を広めたり、正義感をあおって特定の人に批判が集中する流れを作ろうとする場合があります。情報の真偽を冷静に確認することが重要です。

③ 他の情報源と照らし合わせる

単独の情報に頼るのではなく、複数の信頼できる情報源を参照して、事実関係を確認しましょう。異なる視点からの情報を集めることで、真実に近い情報を得ることができます。

指導の要点

SNSや動画サイトは情報を手軽に得られる便利なツールですが、その中には虚偽の情報や感情をあおるような内容が潜んでいることがあります。正しい情報を得るためには、目の前の情報を鵜呑みにせず、落ち着いて上記で挙げたポイントを確認することが大切です。子どもたちがそのような情報に触れる機会も増えています。SNSや動画サイトで見かけるうわさ話や誤った情報を取り上げ、それがどのように広がっていくのか、なぜ広がってしまうのかを子どもたちに考えさせましょう。その中で、普段接している情報の中にも、間違っていたり、誰かを騙そうとしている情報が含まれていることを、子ども自身が理解できるようにすることが大切です。